



頑張るあなたを独りにしない

名古屋市議員

久田くにひろ

プロフィール

昭和58年12月31日生まれ。瑞穂区生まれ。

陽明小・汐路中・天白高を経て青山学院大学経済学部卒業、名古屋大学大学院経済学研究科修了。不二家・京セラ(KDJ)で法人営業に従事。

街頭活動

1,655回

12月末日時点

育児と仕事を両立します！

9月30日(月)6時14分に第一子が産まれました。2535グラム、48センチの男の子です。早産気味でしたが、無事産まれてきてくれて、ホッとしています。これからは、仕事のみならず、育児もしていかなければなりません。当事者の経験を活かして、社会全体で子どもを育てる、育児と仕事の両立が図られる、名古屋市政となるよう、取り組みを進めていきます。

本会議個人質問、その後どうなった？ (2023年6月 定例会)

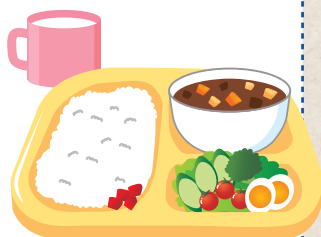
トワイライトの夏休み期間等での昼食提供

本市の共働き世帯の割合は58.9%であり、核家族世帯は93%。家事などを頼れる存在が少なく、共働き世帯の家事の負担軽減は社会全体として切実な課題。放課後児童クラブで長期休暇期間中に昼食提供している自治体が札幌市・奈良市・広島市と増えており、本市でも実施すべきと提案しました。結果、家事負担の軽減となり、子育てをしながら、働きやすい環境を整えていくことにつながる事業であると認識しており、まずは様々な課題を整理するため、モデル事業を早期に実施していくことになりました。

その後

今年度夏に5校、冬に5校でモデル実施。

アンケートでは、「また利用したい」と回答された方が70%以上である一方で、「メニューや量が子どもに合わない」といった声も。弁当の種類を増やすなど課題を解消し、来年度は、受け入れ可能なトワイライトから実施を拡大していく予定です。



本会議個人質問、その後どうなった？

産後ケアの拡充 (2023年11月 定例会)

利用要件の緩和、利用料金の軽減、対象者の利用期間の延長などを図り、産後ケアを必要とする人全てが利用できるものとなるように、産後ケア事業の拡充を行うべきだと求めました。結果、事業の拡充に向けて、利用者や医療機関等の声を把握し、また、他の自治体の取組状況なども参考にして、支援を必要とする母親にとって、より利用しやすく、必要な支援が受けられる制度となるよう検討していくことになりました。

個人質問が
予算化の
きっかけに



(変更)
母親及び配偶者の
合計所得
730万円以上の者

[宿泊型] 11,020→3,520円/日
[通所型] 7,270→2,360円/日
[訪問型] 4,800→1,560円/日

来年度予算に
子ども青少年局が
要求されました
出産直後から安心して育児が
できるよう母子に対して心身のケ
アや育児サポート等を実施。利用
要件の緩和、利用期間の延長(出
産後1年間に延長)、利用料金の
見直しを予定。

さくらの名所応援寄付金にご協力を！

名古屋を彩るさくらの名所を次世代に! さくらは、まちを彩り、人々の心に潤いと安らぎを与えてくれる大切な樹木ですが、市内には、老木化したものや弱ったものが多数あります。「さくらの名所」を次世代の子どもたちにつないでいくため、皆様からのご寄附は、こうしたさくらの診断や治療、植替えなどに活用します。なお、名古屋市内在住の方への返礼品の送付はできません。ただし、寄附金の税控除は可能です。

[担当部署] 緑政土木局 緑地利活用課

[Tel] 052-972-2489 [Fax] 052-972-4143

[メール] a2808@ryokuseidoboku.city.nagoya.lg.jp

納付書を希望される場合は久田くにひろ事務所までお問合せ下さい



01.市立中学校における昼食時間の確保



地域の中学生

昼食の時間が5分ぐらいしかなく、時間が短くて食べられない

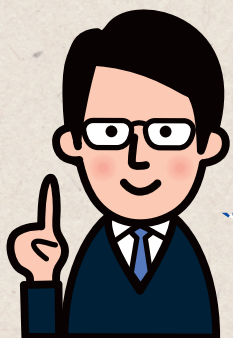
昼食時間を延ばしてほしい



久田くにひろ

中学生の声を受けて某中学校を視察

昼食時間は12時15分から12時35分です。ランチボックスと牛乳を所定の場所に取りに行き、教室まで持ってくる必要がありますが、食事を開始できたのは12時28分。実質、昼食時間は7分でした。12時35分に食べ終えた生徒は30人中7人であり、全ての生徒が食べ終えたのは12時41分です。12時35分以降の昼放課を使って食事をしてもよいことになっていますが、片づけが始まるため、食べ終えていない生徒は慌ててランチボックスを食べていました。



教育長

子供たちが落ち着いて 食べることができる 昼食時間を確保していく

議員御指摘のような昼食時間が短いという御意見は、教育委員会にもいただいている。今後は教育委員会事務局と学校現場が連携をし、昼食時間の具体的な設定の仕方を検討し示すことで、子供たちが落ち着いて食べることができる昼食時間を確保していく。

学校給食法に 食育の推進が明記。 余裕のある昼食時間を 設定すべきでは??

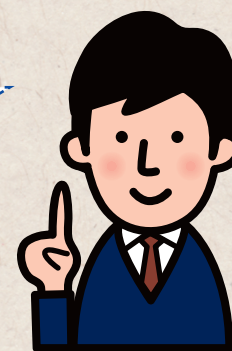
名古屋市食育推進計画にある「食を通じたコミュニケーションにより、食の大切さや楽しさを実感」とは言い難い現状である。子どもたちの意見を聞いた上で、余裕を持った昼食時間を設定すべきでは??



02.重度障がい児を育てる保護者のレスパイトケア

自宅外でも利用できる レスパイトケアを実施すべきでは??

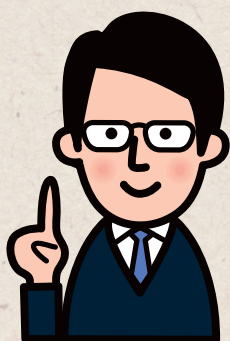
子どもとは、常に親と一緒にいなければならない環境であり、保護者の負担が非常に大きい。極度の心身疲労や共倒れなどすることがないように、保護者への負担を和らげるための休息が取れるように、福岡市で実施しているような、自宅外でも利用できるレスパイトケアを実施すべきでは??



久田くにひろ

福岡市では他都市に先駆けて実施

福岡市では、市と訪問看護事業者と業務委託を締結し、医療保険の対象となる時間を超える自宅利用や自宅以外の場所におけるサービスの提供を行うことで、保護者の方が一時的に休息する時間を確保していく事業を実施している。



子ども青少年局長

令和7年度から実施できるよう検討

関係機関との連携会議で、保護者のレスパイトケアの必要性などの問題提起がなされ、早急に取り組むべき課題であると強く認識した。自宅以外での利用も含めて、令和7年度から事業を実施できるよう検討していく。

令和7年度予算要求がなされました。久田くにひろは当事者のニーズに合った制度となるよう、例えば自己負担なしで利用できるなどを求めています。